

1. 件名：島根原子力発電所2号炉の新規制基準適合性審査に関する面談について

2. 日時：令和2年6月10日（水）10時00分～10時35分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

内藤安全規制調整官（テレビ会議システムによる出席）、

熊谷管理官補佐、田上上席安全審査官、佐口主任安全審査

官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官、南雲係員

中国電力株式会社 山田執行役員 他8名

（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

（1）中国電力株式会社から、本年5月14日に開催された第860回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合における、火山影響評価に関する原子力規制委員会からの指摘事項について、その趣旨の確認があった。

（2）各指摘事項の内容に係る認識を相互で確認した後、原子力規制庁から、審査会合でも指摘したとおり、三瓶山に関する地球物理学的調査に関してZhao et al. (2011)以外の情報も参考としたのであれば資料にまとめて説明すること、大山生竹軽石及び三瓶浮布テフラの火山灰シミュレーションに関して、三瓶山からの距離に伴う実際の降灰層厚も対比しつつ設定したパラメータの妥当性、並びに常に最新の知見を収集することについて、次回の審査会合にて説明するよう再度中国電力株式会社に伝えた。

（3）中国電力株式会社から、上記内容について了解した旨の回答があった。

6. 提出資料

なし